



香港ニュース

◆香港国際空港について

2019年4月号
千葉銀行 香港支店

《はじめに》

香港では2018年9月に広深港高速鉄道^{※1}、10月に港珠澳大橋^{※2}が立て続けに完成し、香港の「陸」と「海」の玄関口となる大規模なインフラ整備が急速に進んでいます。こうした中、「空」の玄関口である香港国際空港においても1998年の開港以来初となる大規模な拡張工事が進められています。「陸」、「海」に続き「空」のインフラが整備されることで、中国本土をはじめとした来港者数の更なる増加や、貿易取引の拡大に期待が高まっています。

今回は、世界有数のハブ空港である香港国際空港についてお伝えいたします。

(※1) 中国広東省広州市、同深セン市および香港の3都市を繋ぐ全長142kmの高速鉄道。

(※2) 香港、中国広東省珠海市およびマカオ（澳門）の3都市を結ぶ全長55kmからなる世界最長の海上橋。

《香港国際空港の概要》

香港国際空港は、九龍の市街地に位置していた旧啓徳空港（Kai Tak Airport）が西方30kmにあるランタオ島の赤鱗角（Chek Lap Kok）に移転する形で1998年7月に開港しました。その後、2007年6月に第2ターミナルが増設され、空港の敷地面積は1,255ヘクタールと、およそ幕張メッセ167個分となりました。現在では、120社以上の航空会社が220以上の都市に就航する世界有数のハブ空港となっています。

（参考：成田国際空港は敷地面積1,111ヘクタール、99社の航空会社が日本国内を含め133都市に就航しています。）



（出所：Hong Kong International Airport HP）

国際空港管理者団体である国際空港評議会（Airports Council International、以下ACI）の統計（2017年）によると、香港国際空港の貨物取扱量は世界第1位の500万トン、乗降客数は第8位の7,200万人となっています。

2017年 貨物取扱量ランキングTOP10

(単位:千トン)

| 順位 | 都市・空港名 | 国・地域名 | 貨物取扱量 | 前年比増減率 |
|----|--------------|----------|-------|--------|
| 1 | 香港国際 | 中国 | 5,050 | 9.4% |
| 2 | テネシー・メンフィス | 米国 | 4,337 | 0.3% |
| 3 | 上海・浦東国際 | 中国 | 3,824 | 11.2% |
| 4 | ソウル・仁川国際 | 韓国 | 2,922 | 7.6% |
| 5 | アラスカ・アンカレッジ | 米国 | 2,713 | 6.7% |
| 6 | ドバイ・ドバイ国際 | アラブ首長国連邦 | 2,654 | 2.4% |
| 7 | ケンタッキー・ルイスビル | 米国 | 2,603 | 6.8% |
| 8 | 東京・成田 | 日本 | 2,336 | 7.9% |
| 9 | 台北・桃園国際 | 台湾 | 2,270 | 8.2% |
| 10 | パリ・シャルルドゴール | フランス | 2,195 | 2.8% |
| 12 | シンガポール・チャンギ | シンガポール | 2,165 | 7.9% |

(出所:ACI)

2017年 乗降客数ランキングTOP10(乗継利用者含む)

(単位:千人)

| 順位 | 都市・空港名 | 国・地域名 | 乗降客数 | 前年比増減率 |
|----|----------------|----------|---------|--------|
| 1 | アトランタ・ハーツフィールド | 米国 | 103,903 | ▲0.3% |
| 2 | 北京・首都国際 | 中国 | 95,786 | 1.5% |
| 3 | ドバイ・ドバイ国際 | アラブ首長国連邦 | 88,242 | 5.5% |
| 4 | 東京・羽田 | 日本 | 85,409 | 6.5% |
| 5 | カリフォルニア・ロサンゼルス | 米国 | 84,558 | 4.5% |
| 6 | シカゴ・オヘア | 米国 | 79,828 | 2.4% |
| 7 | ロンドン・ヒースロー | イギリス | 78,015 | 3.0% |
| 8 | 香港国際 | 中国 | 72,664 | 3.4% |
| 9 | 上海・浦東国際 | 中国 | 70,001 | 6.1% |
| 10 | パリ・シャルルドゴール | フランス | 69,471 | 5.4% |
| 18 | シンガポール・チャンギ | シンガポール | 62,220 | 6.0% |

(出所:ACI)

また、航空関連の調査・格付を行っている英国のスカイトラックス社が2019年3月に発表した2019年版の世界主要空港の格付調査結果(World Airport Award 2019、以下WAA)によると、香港国際空港は総合部門で第5位と、高い評価を得ています。本調査は世界の550以上の空港を対象に空港利用客の満足度などを基準として、ホテル部門やダイニング部門、レジャー部門などの部門ごとにランキング付けがなされています。

香港国際空港はイミグレーションサービス部門とダイニング部門で第1位となりました。なお、イミグレーション部門では2018年に出国審査場に顔認証ゲートを導入するなど、最新技術を取り入れた空港(第2位:成田国際空港、第3位:羽田空港)が上位を占めています。

イミグレーションサービス部門TOP10

| 順位 | 都市・空港名 | 国・地域名 |
|----|-------------|--------|
| 1 | 香港国際 | 中国 |
| 2 | 東京・成田 | 日本 |
| 3 | 東京・羽田 | 日本 |
| 4 | 台北・桃園国際 | 台湾 |
| 5 | ソウル・仁川国際 | 韓国 |
| 6 | 名古屋・セントレア | 日本 |
| 7 | シンガポール・チャンギ | シンガポール |
| 8 | コペンハーゲン | デンマーク |
| 9 | バイエルン・ミュンヘン | ドイツ |
| 10 | 大阪・関西 | 日本 |

ダイニング部門TOP10

| 順位 | 都市・空港名 | 国・地域名 |
|----|---------------|--------|
| 1 | 香港国際 | 中国 |
| 2 | 東京・成田 | 日本 |
| 3 | シンガポール・チャンギ | シンガポール |
| 4 | ソウル・仁川国際 | 韓国 |
| 5 | テキサス・ヒューストン | 米国 |
| 6 | ドーハ・ハマド | カタール |
| 7 | ロンドン・ヒースロー | イギリス |
| 8 | ローマ・フィウミチーノ | イタリア |
| 9 | バイエルン・ミュンヘン | ドイツ |
| 10 | アムステルダム・スキポール | オランダ |

(出所:スカイトラックス社WAA2019)

ちなみに、シンガポールのチャンギ空港は、部門別ではホテル部門、レジャー施設部門で第1位となったほか、総合で7年連続第1位という結果となっています。一方、同空港は貨物取扱量や乗降客数で第10位以下となっており、香港国際空港のハブ空港としての優位性は依然高いものとなっております。

WAA総合TOP10

| 順位 | 都市・空港名 | 国・地域名 | 2018年順位 |
|----|-------------|--------|---------|
| 1 | シンガポール・チャンギ | シンガポール | ← 1 |
| 2 | 東京・羽田 | 日本 | ↑ 3 |
| 3 | ソウル・仁川国際 | 韓国 | ↓ 2 |
| 4 | ドーハ・ハマド | カタール | ↑ 5 |
| 5 | 香港国際 | 中国 | ↓ 4 |
| 6 | 名古屋・セントレア | 日本 | ↑ 7 |
| 7 | バイエルン・ミュンヘン | ドイツ | ↓ 6 |
| 8 | ロンドン・ヒースロー | イギリス | ← 8 |
| 9 | 東京・成田 | 日本 | ↑ 11 |
| 10 | チューリッヒ | スイス | ↓ 9 |

(出所:スカイトラックス社WAA2019)

《第三滑走路建設に向けて》

2015年以降、中国本土の深セン宝安空港、広州白雲空港、上海浦東空港、シンガポールのチャンギ空港、韓国の仁川空港といったアジア諸国のハブ空港が次々に拡張計画を発表するなか、香港国際空港も競争力を維持するため、2016年8月より第三滑走路の建設に着手しました。

香港国際空港は1998年の開港からの20年間で乗降客数、貨物取扱量、発着回数がそれぞれ3倍以上に増加しています。なかでも発着回数については2本の滑走路の最大許容量が1日あたり1,200便程度であるのに対し、1日あたり約1,100便のフライトを処理するまでに至っており、許容量の限界に近づいています。

香港国際空港を運営する香港機場管理局は、第三滑走路の開通により、2030年には年間約1億人の乗降客と900万トンの貨物の取り扱いが可能となるほか、約29万人の雇用増が見込まれるとしています。また、2012年から2061年の50年間で経済に与える正味現在価値（NPV^{※3}）が倍近くなると見積もっています。

（※3） NPV（Net Present Value）は、回収額から投資額を差し引くことで投資の正味の価値を算出し、投資によってどれだけの利益が得られるかを示す指標。一般的な投資判断基準の一つとして用いられます。

第三滑走路開通による経済効果（2012年数値を基準に作成）

| | 2012年 | 2030年 | |
|-------------|----------|-----------|------------|
| | | 現状維持 | 第三滑走路運営後 |
| 経済波及効果 | 94億香港ドル | 133億香港ドル | 184億香港ドル |
| GDPに占める割合 | 4.6% | 3.9% | 4.9% |
| 雇用者増加数 | 148,000人 | 208,000人 | 288,000人 |
| | | 2012-2061 | |
| 正味現在価値（NPV） | — | 591億香港ドル | 1,046億香港ドル |

（出所：Hong Kong International Airport HP）

工事の進捗状況を見ると、現時点では、航空燃料受入施設と第三滑走路埋め立て予定地を接続する5.2kmにおよぶ燃料パイプライン2本の設置までが完了しています。今後は2020年までに埋め立てを完了させ、2024年の運営開始を予定しています。

白い箇所が第三滑走路の計画予定地



（出所：NNA 報道より筆者編集）

一方で、建設工事の遅延を指摘する向きもあります（34ヶ所の工事区画のうち、2019年3月までに完工予定だった5ヶ所が未完工）。工事遅延の理由は埋

め立てに使う 1 億立方メートルの海砂の確保ができていないことです。当初、埋め立てに使用する砂は中国本土の広西チワン族自治区の海砂を調達先としていましたが、当地の海砂のみでは必要量を確保できないことが後から判明しています。そのため、香港機場管理局は広東省をはじめとした中国本土の様々な地域からも砂を調達することで、工事の進捗計画は維持できるとしています。

《 おわりに 》

香港は、中国本土と隣接している利点やアジア各地域へのアクセスの良さなどのメリットを活かし、ハブ拠点としての地位を確立してきました。さらに最近では、広深港高速鉄道や港珠澳大橋の開通など中国華南エリアと香港を一体で発展させる動き（2019年1月号香港ニュース「グレーターベイエリア構想」参照）も加速しています。将来の経済発展が見込まれるなか、香港国際空港の第三滑走路建設は香港の競争力を更に高める上で欠かすことのできないインフラ整備であり、その動向が注目されます。

千葉銀行香港支店では、千葉県企業の香港・中国華南地区への進出等を全面的にサポートしております。現地法人設立の手続きや、オフィス・工場物件の紹介、税制等の情報等、幅広いサービスを提供させて頂いております。また、実績豊富な中国進出のためのコンサルタントを紹介することも出来ますので、弊行お取引店を通じ、お気軽にご相談下さい。

※ ここに掲載されているデータや資料は、情報提供のみを目的としたもので、投資勧誘等を目的としたものではありません。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

※ また、弊行は、かかる情報の正確性や妥当性については、責任を負うものではありません。